

絆きずな 9号

平成28年9月29日発行 発行責任者: 吉竹一泰 文責: 小野田 朋子

毎週木曜日は「人権学習の日」です。自分の言動を振り返ったり、さまざまな人権問題について考えたりすることで、自分を磨いていく日にしましょう。

「ねえねえ 私 あのの子のこと 嫌い あのの子のこと どう思う？」

これを言われたのは 十数回目

私はこれを言われまで
この話の時はずっと聞き流していた

すると どんどん「うざい」「きもい」と 裏で言って笑う子が出てきた

今回はなぜか 聞き流せなかった

「私は その子にもいいところがあるから 嫌いじゃないよ」と言った

なぜか 自分の心が強くなったような気がした

人権の詩 (こころのうた) 2015 より

この文章を読んで、あなたが感じたことを書きましょう。

【感想より】

1年生

☆人と違う意見を持って言えるのが、すごいなと思いました。悪口は、絶対になくなることはないと思います。けど、「私は嫌いじゃないよ」と言える人がクラスに一人でもいたら、その意見に賛成という人が2～3人出てくると思います。そしたら悪口はなくなると思います。私も自分の意見をしっかり言って、この人と同じように心を強くしていきたいです。「うざい」「きもい」はなくしていけたらいいと思うので、今田では0にしていきたいです。

☆私はこの子が凄いなと思いました。だって、自分の気持ちを言えるからです。私だったら「うん、そうやなー」「ちょっと苦手」などと言っていると思います。なのであんまり嫌いじゃなくても、そうやって言っていました。その子には悪いと思いつつ、もし自分が「きもい」とか言われたらどうしようと怖くなります。だから、自分の気持ちが言えないときと言えるときがあります。でも、これからはこの子みたいに、自分の気持ちを「別に嫌いじゃないよ」とか「逆に好きだなー」などとちゃんと伝えるように頑張っていきたいです。

☆1行目の「嫌い」という言葉はもし本人が聞いていたら悲しむし、自分が言われたら傷付くような言葉なので、言うのはやめておいた方がいいと思います。「あのの子のことどう思う？」とか聞かれた時に聞き流さずにちゃんと自分の意見を主張して「あの子にも良いところがあるよ、嫌いじゃないよ」と言っているのは本人が言われたらとても嬉しい気持ちになり、心がスッキリするし、何より自分が言われたら素直に嬉しいと私は思います。でも、裏で陰口を言ったり悪口を言ったりすると、いつ本人の耳に入るかも分からないし「うざい」「きもい」は心が傷つやすい言葉だと思うので言うてはいけないと私は思います。これからは、裏で何かを話している人に注意ができるような立場になれたらいいなと思います。

☆うざいとかきもいとか言うのはいけないなと思います。人のことを嫌いになるのは自由だと思うけど、悪口を裏で言うことはいけないと思います。自分が「うざい」や「きもい」って言っているのを聞いたら反対すると思います。この詩のように、私も反対すると少し気持ちが強くなったような気になりました。でも、時々言い返すことができなくて聞き流してしまうことがあります。後から、「なんで言い返さなかったの？」って自分に聞いています。「次からしっかり言い返そう！」って後からそう言ってます。

☆仲の良い友達が、自分と違う意見や正しくない様な事をしたときに、自分の意見や考えを「相手に嫌われるのではないか」という気持ちで、本当の事を言えないという経験をした人は少なくないと思います。相手を思うことはとても大切なことですが、自分の考えをしっかりと相手に伝えることもとても大切だと思いました。自分の意見・考えをしっかりと持つことで、自分を理解してもらうことができます。自分なりの意見・考えを大切にすることが大切だと思いました。

2年生

☆嫌いじゃないよと言われた人は嬉しいし、言った人は心が強くなれると思うので、とても良いことをしたと思います。私は、友達の話に合わせて答えるときがあります。自分が本当に思っていることは伝えていません。だから、これからは自分の意見を言いたいです。嘘をついていると友達も嫌な気持ちになると思います。しっかりと相手の気持ちを考え、発言するようにしていきたいです。

☆自分と話が合う人や合わない人がたくさんいると思います。その中で話を合わせようとしたり、話を聞いて考えたり、できることはたくさんあると思います。自分がなにもしないから嫌いとかいやな言葉が出るんだと思います。友達が言っているから私も同じではなく、自分が思ったことは声に出して相手に伝えるべきだと思います。

☆みんなが同じ意見で、自分だけ違うと「間違っているのかな」と不安な気持ちになると思います。けどこの人は、とても勇気を持って自分の意見を言えたことが凄いいと思います。言ったことによって本人は自分の心が強くなったような気がしたと言っているの、私もこの子と同じ立場になったとしても自分が思うありのままの気持ちを言える心の強い人になりたいと思いました。

☆自分自身がそんなこと思っていないのに、合わせる必要はないと思います。友達だからといって、自分の意見を言えずにいることは友達といつていいのかなと思いました。自分が嫌いだから友達も同じとは限らないと思うからこの文章を書いた人は勇気があり、始めて友達に言うことができ、すごいなと思いました。私も友達だけでなく、大人になったとき自分の気持ちを伝えたいです。

☆人には好き嫌いがあります。でもそれを人に押しつけるのはよくないと思います。いいところのない人なんていません。人には絶対にいいところがあります。その反対に悪いところもあると思います。それが人です。僕の強みはこのクラス（2年）全員のいいことを言えること。嫌いな人が同じだから仲間とか仲間じゃないとかじゃなくて、嫌いでいいところを見つけてあげてもいいではないでしょうか。

3年生

☆周りの子に合わせるのではなく、自分の思いをしっかりと伝える人になりたいと思いました。人の悪いところばかり見るのではなく、その人のいいところをもっと見るべきだと思います。

☆「ちがう」「そう思わない」と否定しないとそれは肯定ととられてしまうかもしれない。「ちがう」たった一言のその言葉は、とても勇気が必要なことだと思います。聞き流したり、合わせたりすることはできるけれど、自分の意見を言うことはとても勇気がある行動だと思います。心を強くすることは簡単ではないことだけど、やろうと勇気を出せばできることです。人権の詩のその子の勇気、たった一言の言葉ですが、とても重みのある言葉だと思います。その言葉でたくさんの人が救われたのだと思います。改めて言葉の大切さを感じました。

☆相手の意見と自分の意見が異なるときでも、自分の意見を相手に言えることはとても大切だと思います。また、周りに流されるのではなく、自分の考えを持っていることも大事だと思いました。私も自分の考えをしっかりと持てる人に心が強い人になりたいと思いました。

（裏面へ続く）

